

核兵器をなくそう！ 被爆者を支援しよう！

核兵器廃絶 ネットワークみやぎ

核廃絶ネット通信

第9号

2024年

2月29日発行

第2回総会&講演会を行いました

11月23日、福祉プラザにて講演会&第2回総会を開催しました。



開会のあいさつで木村代表は、今年嬉しかったのは広島・長崎両市長が核抑止論が破綻したことを世界の首脳は受け入れるべきだとスピーチしたことで、長崎で聞いてこれからも頑張らなければと奮起したと話しました。

講演会では、杉

山さんが弁護士を目指した理由、認定訴訟に関わるようになった経緯、どんなことを大事に取り組んできたかなどを紹介してくださいました。裁判長の心を動かすには、被爆者があの日どんな被害を受け、狂わされた人生をどんな風に送りどんな思いで過ごしたのかを、写真集なども活用してしっかり伝えていく必要があると。ぜひ広島原爆資料館にツアーを組んで見に行ってくださいとも勧められました。



佐々木県議が参加してくださいましたので、ごあいさつをいただきました。非核の政府を求める会の全国代表委員でもあり、核兵器廃絶は自分の課題と捉えているので頑張っていきたいと、心強いごあいさつでした。



引き続き行った総会では、4名の方にご発言いただき、議案全て承認されて終了しました。お一人の方に参加していただきました。30名の参加でした。



3周年記念イベント

1月20日（土）、福祉プラザにて3周年記念イベントを開催しました。

開会あいさつでは、木村緋紗子代表が第2回締約国会議について報告しました。参加した被団協の代表が「なぜ日本は参加しないのか？」と聞かれたことを紹介し、日本政府が世界からの信用を無くしていることが非常に残念だと話されました。

第1部は、ジャズユニット「空と大地のあいだに」の演奏会。稲垣さんの素晴らしいピアノ演奏で、遠藤さんが平和への想いを込めて「死んだ女の子」など6曲を熱唱しました。

第2部の講演会は、カクワカ広島共同代表高橋悠太さん、23歳です。しっかりした話し方でわかりやすく、これまで取り組んできたことを映像を使って話してくださいました。高校



時代に

国会議員に面談して、核兵器禁止条約への賛否を聞いてアプリで公開したカクワカのこと、友だちに「核兵器をなくすのは無理だろう」と言われて心が折れそうになったけれど、もっと周りに核兵器のことを知ってもらおうと Know Nukes Tokyo を立ち上げたこと、第1回締約国会議に参加しない日本の外務省代表に、ネットで集めた署名を現地で見せて参加を迫ったことなど、興味深い活動の数々でした。ビキニ事件の被災地の状

況も伝え、核兵器廃絶は「人権を守ることにもつながる」という訴えは納得ものでした。たくさんのお話が学べたお話でした。参加者は、会場95名、オンライン視聴11名でした。また、会場カンパは全部で73,199円いただきました。ありがとうございました。そのうち21,000円を高橋悠太さんに寄付しました。

見逃してしまった方は、YouTubeでぜひご覧ください。右のQRコードからどうぞ。



3周年記念街宣

22日（月）には、禁止条約発効3周年を市民にアピールする街頭宣伝を行い、14名が参加し11名がリレートークを行いました。皆さん、それぞれの想いで核兵器廃絶の訴えをしていただきました。署名は41筆集約できました。

